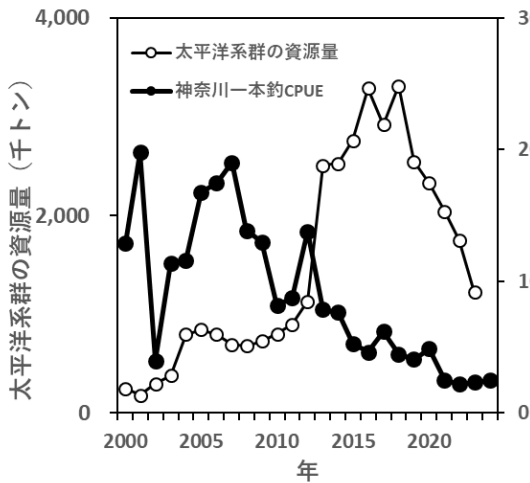


資源の動向 「低位・減少」



一本釣CPUE (kg/日/隻)と太平洋系群の資源量の推移

本県沿岸の一本釣漁船によるマサバの1日1隻あたり漁獲量(CPUE)は、2008年以降減少傾向で、2024年も依然として低調であった。一方、マサバ太平洋系群の資源量は2000年代の低迷から急速に増加し、2018年に300万トン前後に達した後に減少しており、漁獲量と資源量の増減は一致していない。

2025年も黒潮続流の北偏の影響により、マサバの本県沿岸への供給源である伊豆諸島海域への南下が妨げられると予測されており、資源の水準・動向は「低位・減少」と判断した。

対象漁業

- 定置網漁業
- 一本釣漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島周辺
- 移動: 春に伊豆諸島海域で産卵し、夏～秋には三陸～道東沖へ移動する
- 神奈川県沿岸(相模湾、東京湾)で漁獲されるマサバは親魚が主体
- 成長: 尾叉長は4歳で30cm前後、6歳以上で35cm前後
- 産卵期等: 1～6月(盛期は2～5月)

